



Good Wood Communication!

かけがわの森から



台風十五号浜松に上陸 森林の風倒被害が甚大

東・南向き斜面に被害集中 被害全容未だ見えず

雨の台風十二号が、当初の進路予想から逸れて紀伊半島へ上陸し、山の深層崩壊による土石流や土砂ダムの発生など、多くの災害をもたらした。もし、こちらに来ていたらと肝を冷やした直後であった。九月二十一日、風の台風十五号が、大陸への進路を転換して日本に向い、浜松

付近に上陸した。

瞬間最大風速五十メートルという猛烈な風は多くの倒木被害をもたらした。ところどころで道路を塞ぎ、電線を切断した。浜松市天竜区では一週間も停電したところもあるようだ。

台風通過後、あちこちの山の状況を確認しているが、森林の

倒木被害の大きさに驚いている。特に山の東側、南側斜面の被害がひどく、広いところでは二ヘクタール以上の面積で木がなぎ倒されている。掛川の森林は、冬の強い西風にはある程度慣れていると思われるが、台風の右側に入って猛烈な東風、南風を受けて被害を被ったようだ。

森林組合ではここ十年ほど、遅れていた間伐を、強力に押し進めてきたが、今回の台風で、間伐を施工した場所も被害を受けた。

間伐直後の森林は、根がしっかりと張ってくるまでは、風に弱い時期が何年か続く。持ちつ持たれつ互いに支え合っていた木々が、間伐で支えを失い、風を受けて倒れやすくなるためだ。今回、風倒害を受けたところが、すべて間伐した場所と云うことではないが、間伐地の被害も少なくない。

数十年育ってきた山、間伐してきれいになった山のなぎ倒された様子を見ると、辛く、言葉にならない。

広範囲で倒れてしまった山を今後どう復旧するか、資金の問題、施工方法の問題、様々な課題があるが、所有者の皆様、行政と協議を行いながら、対応を考えていきたい。



第50回 通常総会終了 ～すべての議案を原案どおり可決～

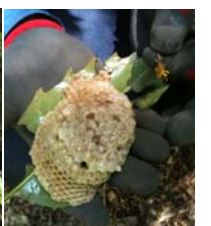
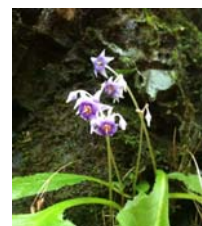
8月30日、掛川市森林組合第50回通常総会が、掛川市生涯学習センターにて開催されました。組合員102名の出席のもと、提出議案の全てが承認されました。まずまずの決算報告ができたことに、組合員をはじめ、関係機関の皆様へ御礼申し上げます。また今期も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。総会后、全国茶業中央会の会長に就任したばかりの榛村組合長の講演が行われました。日本の茶・米・木の

振興のキーワードとして、「和産和消」「和産和食」という新しい言葉が登場し、関心を集めました。



かけがわの森・山の現場の写真集 ～HPのフォトギャラリー～

当組合のホームページに、『フォトギャラリー』というページがあります。こちらのページでは、かけがわの森・現場の作業風景など、今までスタッフブログに掲載されてきた、いろいろな掛川の山の写真を見ることができます。随時更新していますので、時々覗いてみてください！！



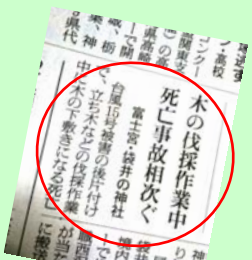
どんな力がかかっているか分からない 風倒木処理作業の危険性

倒木処理作業には、大きな危険が潜んでいます。幹や枝に異常な力が加わっていて、その力をよく見極めて作業をしないと、はねられ、はさまれ、下敷き事故につながります。

とくに集団で倒木がある場合は、異常な力が複雑に絡み合っていて、慎重に慎重を重ねた作業が必要です。台風通過以降、森林組合も倒木処理作業に追われていますが、安全第一で作業を進めていきたいと思えます。



墓地の倒木（慎重な作業を要する）



森林組合からのお知らせ

●本年度事業の進捗と予定

境界保全事業 上西之谷地区・黒俣地区で 120ha の境界確認・杭設置・測量を行っています。

治山（奥地保安林）事業 西之谷川流域で行われる間伐事業の最終年度となります。道路際の施工もありますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

森の力再生事業 炭焼・上西郷・大和田・丹間・千羽・東平尾、各地区で実施しています。一部で風倒被害が発生していますが、今後対応していきます。

●職員 橋山謙が都合により退職しました

職員の橋山謙さんが、都合により7月30日をもって退職しました。1年4ヶ月という短い間でしたが、皆様に大変お世話になりました。

●ナラ枯病に要注意！

新聞、テレビ等でご存知の方も多いかもかもしれませんが、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ病が、愛知県、長野



県より静岡県に進入してきています。浜松市内で被害木が確認され、今後掛川でも被害が発生する恐れがあります。虫自体は体長5mmほどで、目立ちませんが、ナラ・カシ・シイが幹から粉を噴いて枯れてきた場合、ナラ枯れ病かもしれません。お気づきの際は森林組合、もしくは市の農林課までご一報ください。対策が必要となる場合があります。

早期発見、応急措置、迅速な連絡・移送が大切！

①被災の早期発見のためには・・・

単独作業を行わない、連絡笛を携帯する、仲間を時々気づかうことが大切です。間伐など、個人作業の場合には特に注意が必要です。



救急救命士から説明を受ける



心臓マッサージの訓練

②適切な応急措置を行うことが命を救い、また、怪我の程度を軽くします。現場には、圧迫止血する為の、清潔な布とビニール袋を携帯し、万が一の場合の心臓マッサージ、人工呼吸法を覚えておきます。

③迅速な連絡・移送

いち早く仲間・救急隊を呼ぶために、まず無線・携帯電話で事務所に連絡し、病院までの最適な移送ルートを考えます。山から林道までは搬送用の応急担架を作ることが必要となるかもしれません。



灌木と衣服による簡易担架

事故は起こさないことが第一です。しかし、万が一起きてしまったときのことを考えておくことも必要です。いち早く発見、救護、移送ができるよう訓練を重ねたいと思います。

組合員の皆様も、山に入る際には十分にお気をつけください。山に入る際は、どのあたりに行くかを家族にしっかり伝えておくことも、また、大切なことですね。

山の仕事は急斜面で、鋭い刃物を持って、重量物を扱う仕事です。日々安全作業に努めていますが、時に、大きな事故が発生してしまう可能性があります。今回、森町森林組合さんと合同で、骨折・大きな出血を伴う怪我をした場合の応急救護訓練を行いました。

応急救護訓練実施
「いざ」と言うときのたぐい

美味「高墨」～カントリーファーム佐藤園さん～



今年の秋も居尻のぶどう園「佐藤園」さんの高墨をいただきました。種がなくて、味・香りは巨峰に勝るとありましたが、その通り！とてもおいしくいただきました。ご馳走さまでした。



“これいい！” 購買担当「藍ちゃん」の ウッドクラフト商品を納品しました！

オススメGOODS!!

今回は報告です f(^_^)

先日、静岡市内で飲食店を経営されている方から、ウッドクラフト商品の注文をいただき、ケヤキの楊枝入れ9つを納品しました。「木のぬくもりを感じられる楊枝入れを、ずっと探していました。」とのことでした。長く使っただけなら嬉しいです。



製作者：居尻 中山忠一さん

放射性物質の森林への沈着 福島第一原発の事故による

組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動（相続・取得・売却）が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと 今年最後の広報誌は倒木処理のため発行が遅れました。すみませんでした。それにしても今年は様々な災害に見舞われる一年ですね。これから来年に向けて災害からの復旧を着実に進めるとともに、何か希望の光を見出し、前進していきたいと思ひます。
(風にも負けず、鈴なりに実った秋の味覚→)



福島第一原発の事故による放射性物質が広範囲に拡散したが、沈着区域の約七五％が森林であるという。森林の除染方法として表土を剥く方法が挙げられているが、果たしてそんなことができるのだろうか？木々は根から放射性物質を吸収しないのだろうか？その森の木は材として使えるのか？そもそも森林に入って作業ができるのか？森で仕事をするものとしては、街、農地等の生活区域の除染と同時に、森林の除染についても今後の動向を注視したい。

